

アウトドア誌上体感マガジン

PAPER LOGOS

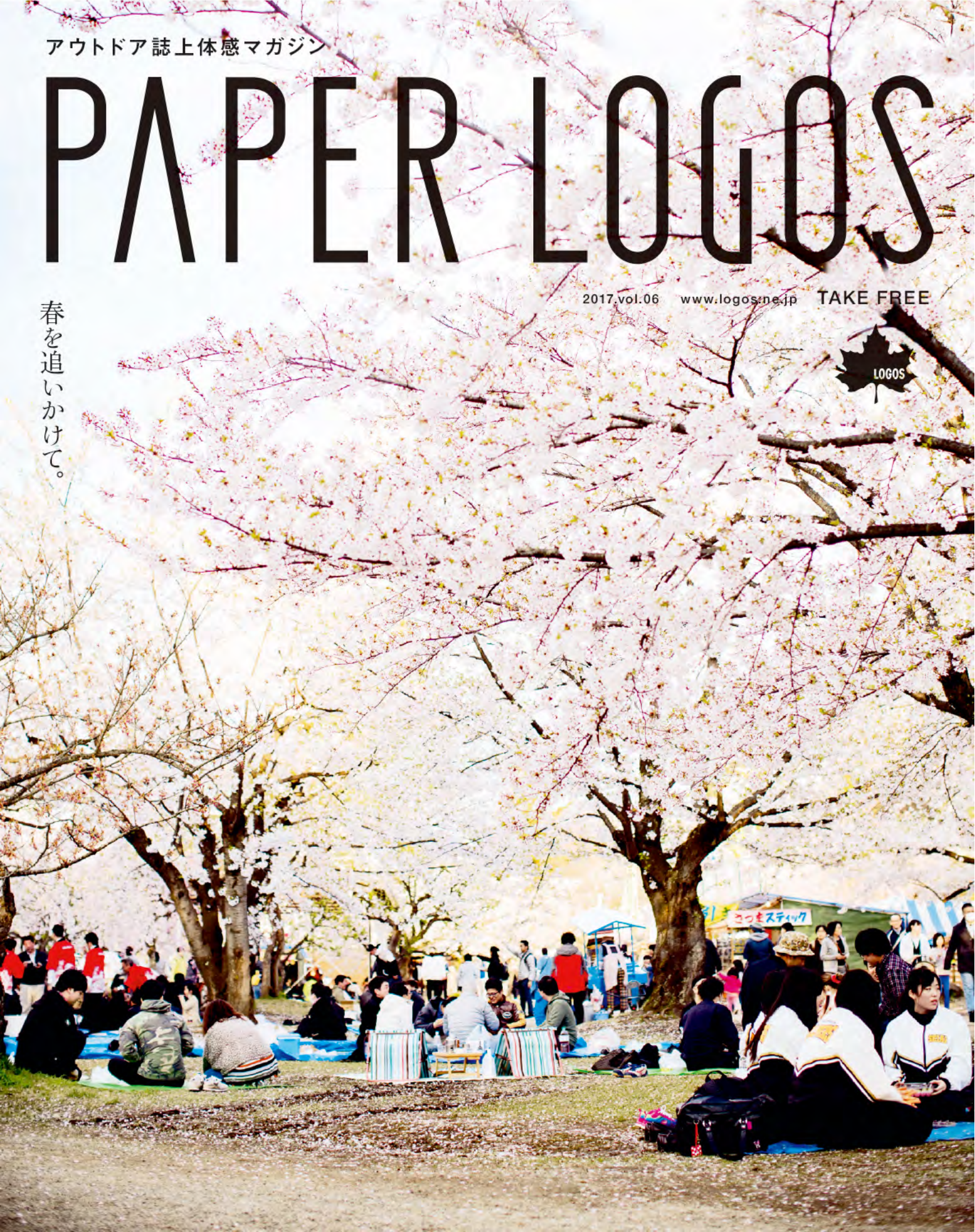
2017.vol.06

www.logos.ne.jp

TAKE FREE



春を
追いかけて。



What's
PAPER LOGOS?

アウトドアブランドLOGOSは、フリーペーパー「Smart LOGOS」、WEBマガジン「月刊LOGOS」などの自社メディアを発行&更新しております。そんなオリジナルコンテンツを再構成、さらに本誌独自の特集を加えた「アウトドア誌上体感マガジン」がPAPER LOGOSです。

CONTENTS

特集

002-027 春を追いかけて。

FES

- 030-037 JOIN ALIVE 2017
- 038-045 FUJI ROCK FESTIVAL'17
- 046-053 Reborn-Art Festival × ap bank fes 2016

TRIP

- 058-071 スキュー部～日本三大朝市の旅編～
- 072-083 世界の片隅の世界一
- 084-085 コラム「編集長ひとり旅～恐竜と化石を探してきました～」

BBQ

- 088-093 タモリカップ2016
- 094-099 ご当地BBQ @山口
- 100-105 BBQが主役の日には。

- 054-055 from Smart LOGOS vol.09「フェスのミカタ」
- 106-107 from Smart LOGOS vol.08「はじめまして秋キャンプ」
- 108-109 LOGOS TOPICS
- 111 SHOP LIST



Welcome to
LOGOS FAMILY



**LOGOS FAMILY VISAカード
会員募集中!**



**LOGOS FAMILY
VISAカード会員限定特典**


- 1 入会時にロゴスショップで使える電子クーポン2000円分プレゼント!
- 2 年間20万円以上の購入でFAMILY年会費(¥2,000円+税)を還元!
*VISA年会費(¥1,250+税)が2年目以降、別途発生します。
- 3 毎月のご利用金額に応じて貯まったワールドポイントでロゴス製品と交換できます。

More Enjoy Outing!

LOGOS FAMILY VISAカードに入会いただくと、FAMILY会員共通の特典も付いてきます。

その
1

10%
OFF



全国のロゴスショップ、LOGOS online Marketにてご購入いただくと10%OFFとなります。
*一部の店舗およびアイテムを除きます。

その
2



PAPER LOGOSプレゼント
入会時にLOGOSのアウトドア誌上体感マガジン「PAPER LOGOS」をプレゼント。全112ページのLOGOSオリジナルコンテンツです。
*数に限りがございます。在庫切れの場合は、代替アイテムとなります。

その
3



セレクションカタログプレゼント
新製品を含むLOGOSの最新情報が満載の『LOGOS SELECTION CATALOG』を、発行後即時送付させていただきます。

詳しくはコチラを
CHECK!



http://www.logos.ne.jp/logos_family_visa



春を追いかけて。

春を追いかけ始めたのは、この場所からだ。東京・上野恩賜公園。日本どころか世界中から200万人以上の花見客であふれるこの地で、青森県五所川原市出身の男性が言う。「上野もいいけど、やっぱり弘前公園の桜は別格だな」。桜をメインに春を追いかけて東京から北上する人とも出会う。そんな企画のロードマップに五所川原と弘前がマッピングされた瞬間だった。偶然を愛せ。誰かがそんな言葉を残したが、読み方を変えると「トラブル」と意識できることを本誌は知っている。偶然というトラブルに幸運も混じっていることを願いつつ、いざ、春を追いかけて。

撮影・岡崎 取材・文・藤澤和也 取材日・2017年4月25日

山形へ

実は「山形へ」の文字は「秋田へ」となる予定だった。
上野公園から始まった「春を追いかけて」な旅は、
桜も楽しめる秋田のキャンプ場からスタートするはずだったのだ。
ところが、である。そのキャンプ場は海の近くに位置し、
ざつばーんと波の音が聞こえるばかり。
桜など一本もなく、花びらひとつすら舞っていない。
慌てて移動した桜の名所であるはずの公園もすでに満開時期は過ぎており、
たこ焼き屋さんを出店していたおばさんは「誰も来ね」とつぶやく始末。
さあ、どうする？ PAPER LOGOS恒例の珍道中のはじまりである。
では、なぜかくも美しきこのページの桜を山形で撮影できたのか？
それは、人との出会いに救われたからだった。

鶴岡市櫛引地域の
赤川右岸に並ぶ「馬渡の桜」。
ソメイヨシノを中心に
約300本の桜が咲き誇っていた。
映画「おくりびと」のロケ地でもある



山形県尾花沢市の銀山温泉へ。
この地での桜の見頃は1週間後で、
またしても桜と出会えず。だが、
雪解けの水が流れる滝の中にも一輪の春が



秋田県の勢至公園近くから、
冬残る鳥海山を望む。
同公園は秋田県で一番早く桜が咲く
スポットだが、前日の強風で
散ってしまい、いざ山形へ



ようやく桜と出会えたのも鶴岡公園だった。
地元の高校生4人は合唱部に所属。
師匠が弟子をお花見に連れて行くという
ユニークな伝統を受け継いでいた



鶴岡公園にて。本業は自転車屋さんの
ご主人は年間35日のみ店を出す。
「なんでやってるかって？」
この味を待ってる人がいるからじゃん」



鶴岡市神明町
白幡商店
TEL(22)1198



春を追いかける旅は、
初日のさっぱーんに始まり
日本海と向き合う旅でもあった。
そんな港町の人たちは、春の訪れを
「サクラマス」の収穫で感じていた



由良地区の漁師さんは、
ワイルドな武勇伝を伝えてくれたが
掲載不可な内容だった。偶然にも、
中央の漁師さんがLOGOSの
姉妹ブランドのカッパを着用



銀山温泉は山形名物
「花笠音頭」発祥の地でもある。
地元の人々は幼稚園から
教わるというその踊りは、
現在では5つの流派が存在する



今回の旅の大恩人である
鶴岡市長の榎本政規さん。
ふらりと立ち寄った居酒屋で
知り合う偶然がなければ
この旅は途方に暮れていた。
詳細は本文を

青森へ

青森編ではキャンプをすると決めていた。
春を追いかける旅は、桜を求めるだけではないのではないか。
そもそも、自然の摂理に従って咲いている生き物に対して
自分たちの都合で満開を求めるだなんておこがましい。
言い換えるのなら、のんびりいこうぜと
旅の速度をゆるめることにしたのだ。
青森の夏泊半島では、ホタテの釣り堀があった。
その夜、釣ったホタテを焼いて食べた。
波の音を聞きながら、旅館よりも深い眠りにつく。これだよこれ。
翌朝、あたたかいコーヒーを飲みながらそう思った。
旅の速度は落としたのに、心のなにかが加速する。
世界遺産白神山、津軽三味線、南部町という小さな町の春祭り。
もちろん、上野でマッピングされた「五所川原&弘前」にも。
いざ、青森へ。

東津軽郡の椿山キャンプ場へ。
夜の気温は5℃まで下がったが
なぜか朝までぐっすりと寝てしまう。
翌日、鯛を狙って船をこぎだす釣り人を見送る



五所川原市芦野公園へ。
桜トンネルを突っ切るように進行する
津軽鉄道「走れメロス号」が人気。
津軽弁全開のガイドさんも人気



白神案内山の会代表の
山田兼博さんのガイドで
世界遺産の地で
残雪トレッキング。
樹木の根元がサークル状に
溶けているのが春の訪れ